

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせてます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

## 今週の紙面

- 2~3面 対談/ニュース/国会
- 4~5面 新婦人活動/読者の作品
- 6面 能登支援/母の歴史
- 7面 気候危機
- 8面 中東情勢/まんが
- 9面 インタビュー/介護
- 10面 パズル/あそび!
- 11面 映画/文化



長野・安曇野市 藤川圭子(84)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

### 2025年 新春

### 本とお菓子 うれしい!



1階の図書館が水没し、本がすべて水浸しになり隣の能登町の学校に間借りしている輪島市立町野小学校を訪ねて。学校のリクエストにこたえて新しい本とお菓子をプレゼントする石川県本部事務局長後藤祐子さん(右端)

(2024年12月)



## 平和とジェンダー平等 前に動かす年に

### 対談

新外交イニシアティブ代表 弁護士  
猿田 佐世さん

新日本婦人の会会長  
米山 淳子さん

〈2~3面〉

## 能登半島地震・豪雨 すすまぬ国の支援…

# 新婦人でつながって前へ



仮設住宅に運んだ支援物資を「全世帯に配布したい」との声で全世帯分に小分け。待っている人がいっぱい(輪島市門前町で)

仮設住宅のみなさんに  
届けます

久びさのメイク  
わーきれい!



美容タイムに、「わー、きれいになったねー」とみんなから声が。眉カット、お化粧もしてもらって、集まっておしゃべり。リフレッシュのひととき

お正月の団らんを突然襲った能登半島地震から1年、追い打ちをかけた豪雨から3カ月。国の支援があまりに遅れるなか、新婦人は防災直後から現地に入り、自らが被災しながらがんばる会員や班、支部のみなさんと、つながって、励まし合い、支援に全力をあげています。全国から寄せられた募金は3800万円を超えました。

「毎日心が揺れるけど、やっぱりここで暮らしたい」「安心して住める公営住宅がほしい」「医療費・保険料の減免は続けて」「万博や軍拡より能登支援に」と切実な声で会として政府に迫るとともに、県本部と一緒に、支援を続けていきます。「冬の衣類を」「下着を」「野菜や果物を」など、その都度要望を聞きながら、山のように物資を車に積みこんで走らせ、仮設住宅や避難所、学校へ。どこにでも顔見知りが出て、日頃のつながりがある新婦人の班、会員がいるからこそ、あたたかい出会いと支援、仲間の輪が広がり、珠洲市には新しい班が誕生しようとしています。

〈6面へ〉

